

◆児島湾締切堤防の役割

○ 農業用水の確保

- ・児島湖に農業用水を貯留しています。



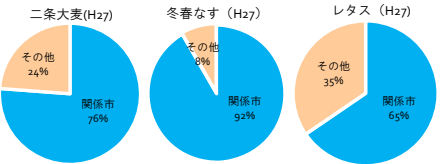
二条大麦



なす

レタス

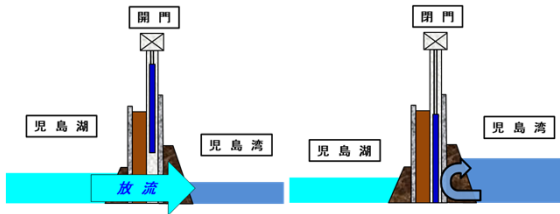
岡山県に占める関係市(岡山市、玉野市、倉敷市)の作付面積割合



出典:岡山農林水産統計年報

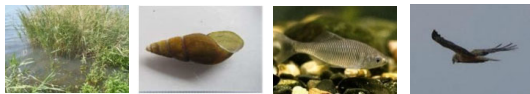
○ 防災施設としての役割

- ・児島湖・干拓地への高潮の浸入を防止しています。
- ・豪雨による干拓地の湛水被害を防止するため、台風襲来前等に事前に水位を低下させるなど排水対策を実施しています。



○ 豊かな生態系を育む水環境

- ・古くから干拓によって形成された水田が発達し、水田、水路、河川、児島湖とつながる水環境に恵まれており、ヨシ、クロダカワニナ、ヤリタナゴ、チュウヒ等が確認されています。



ヨシ

クロダカワニナ

ヤリタナゴ

チュウヒ

◆大規模地震発生時

- 堤防上で揺れを感じたら、まず身の安全を確保し、揺れが収まったら、津波に備え、速やかに堤防から避難して下さい。
- 自動車を運転中に緊急地震速報が発表されたり、大きな揺れを感じた場合には、ハザードランプを点灯し道路左側に停車するなど、まずは身の安全を確保し、速やかに堤防から避難して下さい。
- 想定を超える津波が発生する可能性がありますので、気象庁の発表や関係市の地域防災計画、避難勧告等に従って適切に対応して下さい。

岡山市津波ハザードマップ	検索	
玉野市地域防災ハザードマップ	検索	
倉敷市津波ハザードマップ	検索	

日頃より関係市の地域防災計画(ハザードマップ)等を確認するようにして下さい。

農林水産省 中国四国農政局 岡山南土地改良建設事業所

〒700-0975 岡山県岡山市北区今三丁目23-2
 TEL 086-236-6240 FAX 086-236-6241
 ホームページ <http://www.maff.go.jp/chushi/kj/okayamam/index.html>

(作成:令和元年8月)

国営総合農地防災事業 (大規模地震型)

こじまわんえんがん 児島湾沿岸地区 計画概要

こじまわんしめきりていぼう

児島湾締切堤防の耐震工事

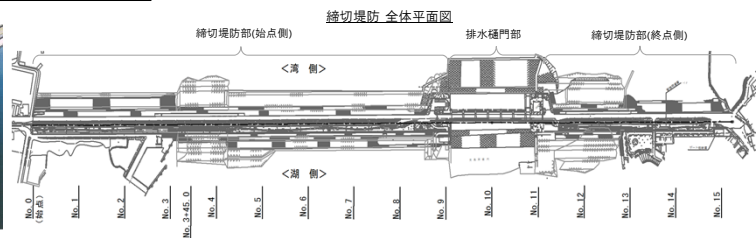
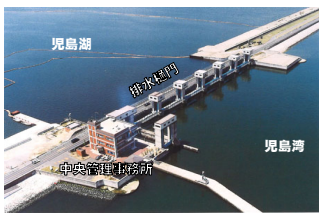
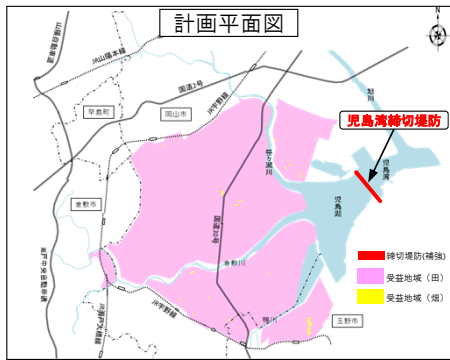


(郡側から望む児島湾締切堤防)

農林水産省
中国四国農政局
岡山南土地改良建設事業所

◆施設の概要

- 児島湾沿岸地区は、岡山県の南部に位置する岡山市、玉野市、倉敷市にまたがる4,320haの水田地帯です。
- 児島湾締切堤防は、干拓地の農業用水の確保、排水機能の確保及び塩害防止を目的として、国営かんがい排水事業（昭和25年度～昭和36年度）により造成され、その後、直轄海岸保全事業（昭和55年度～平成13年度）により改修された地域の重要な基幹施設です。



◆事業の目的、工事概要

事業の目的

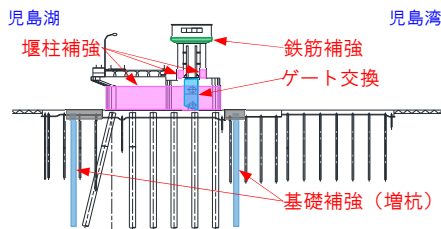
本事業では、児島湾締切堤防の耐震化対策を行い、大規模地震発生時における農業用水の喪失、排水機能の喪失及び塩害等を未然に防止することにより、農業生産の維持及び安定を図り、もって国土の保全に資するものであります。

関係市	岡山市、玉野市、倉敷市
受益面積	4,320ha（水田 4,292ha、畑 28ha）
総事業費	260億円
事業工期	令和元年度（平成31年度）～令和12年度（予定）
事業内容	締切堤防：1.56km（うち改修1.35km） 樋門・開門（改修）：7門（172m）

工事概要

■排水樋門の対策工

堰柱や基礎等を補強し、排水機能を維持します。



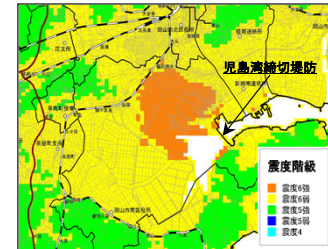
◆大規模地震の発生確率と締切堤防の機能低下

- 東日本大震災を踏まえ、中国四国農政局において締切堤防の耐震性を調査したところ、大規模地震^{※1}が発生した場合には、締切堤防が液状化・沈下するとともに、排水樋門も損壊するため、津波や高潮が、児島湖周辺の農地や市街地に浸入する
- ・ 児島湖は海水浸入により塩水化し、農業用水が確保できなくなる
- といった被害が想定されるシミュレーション結果となりました。

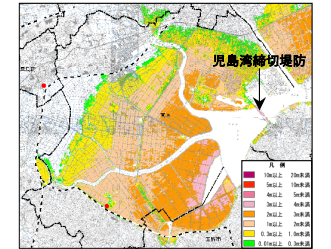
※1（大規模地震）：内閣府が公表（平成24年8月）した南海トラフの巨大地震のうち、現在から将来にわたって当該地点で考えられる最大級の強さを持つ地震動

■南海トラフ地震は、今後30年以内にマグニチュード8～9クラス規模の地震が70%～80%程度の確率で発生すると想定（内閣府平成30年12月）

■南海トラフ地震による想定震度（岡山県平成25年7月）



■南海トラフ地震による津波浸水予測（岡山県平成25年7月）



<過去の大地震発生域と頻度>

平成31年1月 中央防災会議 防災対策実行会議（内閣府HPより）

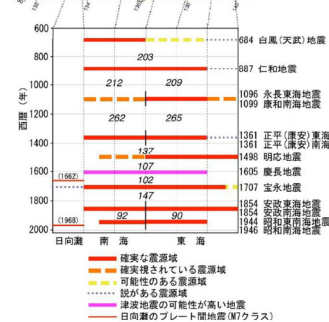
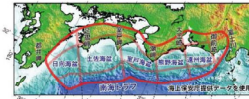
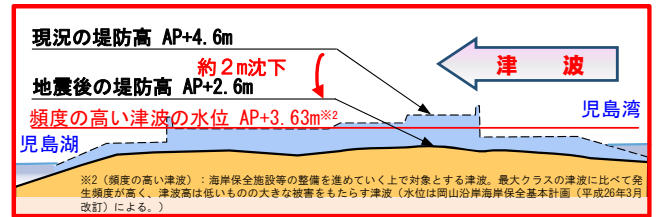


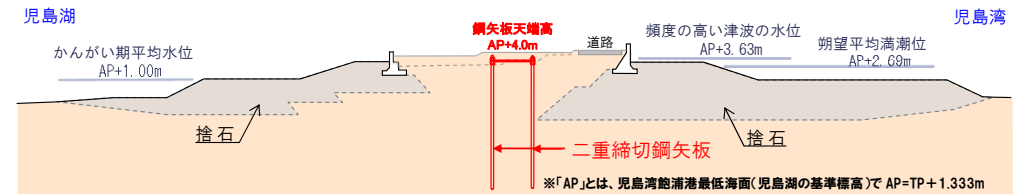
図 南海トラフで過去に起きた大地震の震源域の時空間分布（石橋、2002 をもとに編集）
・白黒（実線）地震（1864年）以前の地震を示している。
・図中イタリック体で表した数字は、地震の発生間隔（年）を示す。
・震源域は地形の境界（郡井畔、足摺畔、笠戸畔、潮畔、大王崎、御前崎、富士川）で東西方向に広がっている。
・黒の縦線は、南海と東海の地震が時間差（数年以内）において発生したことを示す。

■現状のままでは、大規模地震後、津波の水位が堤防高を上回り、海水が浸入



■締切堤防の対策工

鋼矢板を二重に打設することによって堤防の一部を堅固な構造に補強し、津波等の海水の浸入を防止とします。



■二重締切鋼矢板の設置イメージ



■施工事例（高知海岸）

